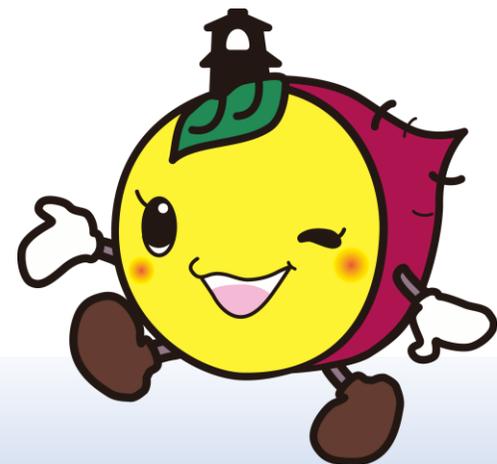


令和7年度 地域部活動推進事業に係る実証事業報告会



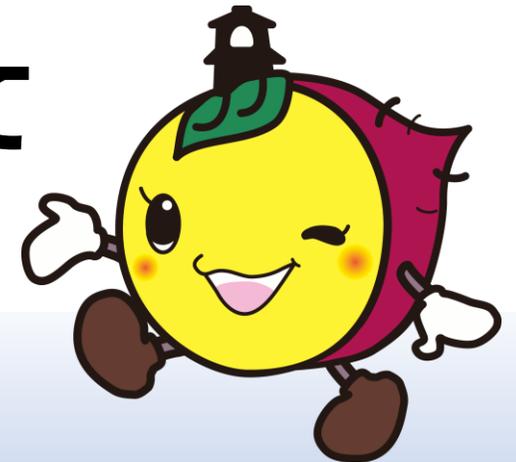
川越市



川越市マスコットキャラクター
ときも

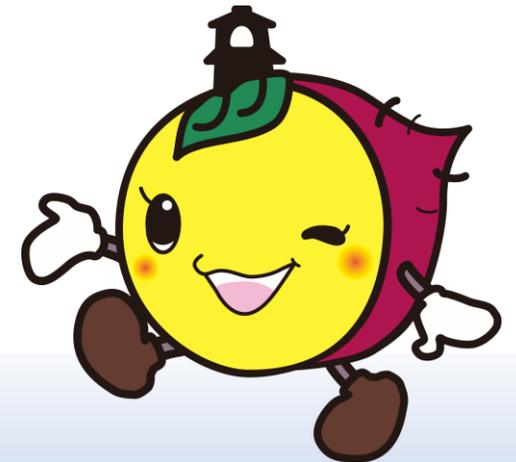
報告内容

- 1 川越市の概要について
- 2 令和7年度実証事業について
- 3 今後の検討課題について



川越市マスコットキャラクター
ときも

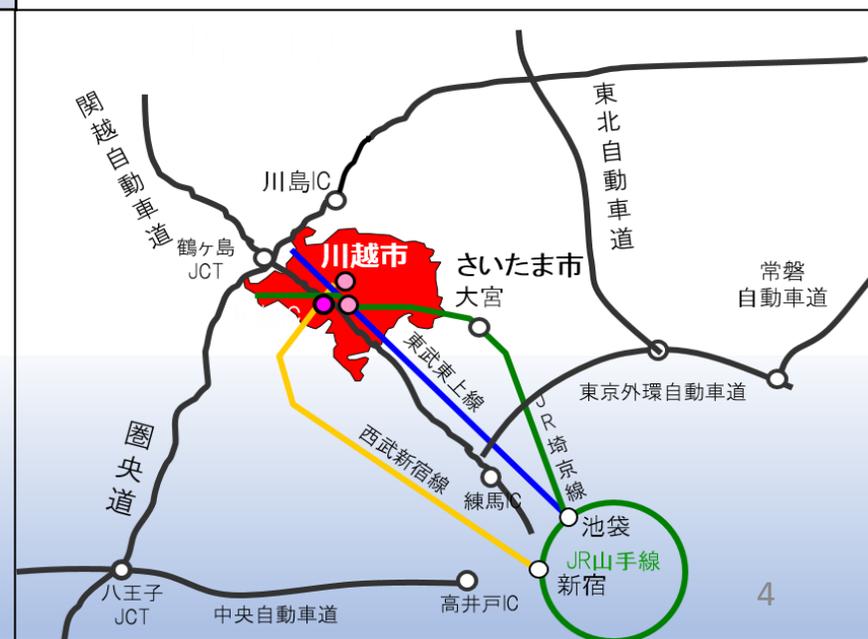
1 川越市の概要について



川越市マスコットキャラクター
ときも

1 川越市の概要について

項目	R8.1.1現在
施行	1922年
人口	352,607人
面積	109.13km ²



1 川越市の概要について

項目		数値
学校数	小学校	2 2 校
	中学校	3 2 校
児童生徒数	小学校	16,534人
	中学校	8,669人
部活動数	文化系	6 1
	運動系	2 0 6

中学校配置図

● 市立中学校

川越市は昭和30年に1市9村を合併して現在の市域としており、合併前の地区割をベースに学校の配置がされていることが多い

1 川越市の概要について

『部活動を取り巻く主な課題』

- **生徒の総数に対し学校数が多く、学校あたりの生徒数が少ない傾向**
→学校単位では部活動の部員数が確保しにくい
- **通学先に希望する部活動がない**
→部活動のために遠隔地の学校に通う生徒がいる（特例措置）

1 川越市の概要について

『川越市の地域展開への取組』

- ・ **川越市立中学校の部活動地域移行検討委員会**
市・教育委員会・中学校校長会長・中体連会長
による会議体を組織し地域展開の検討を進める。
- ・ **川越市地域クラブ活動連絡調整会議**
行政のほか、文化芸術団体・スポーツ団体・
中学校校長会長・中体連会長・保護者（PTA）・大
学等の関係者による会議体を組織し、相互に情報を
共有するとともに、それぞれの立場から意見を出し、
地域展開を推進する。



**R7.3 「川越市立中学校における
部活動地域連携・地域移行推進計画」 策定**



ホームページ
リンク

1 川越市の概要について

『川越市立中学校における部活動地域連携・地域移行推進計画』

《川越市の方向性》

令和8年度（3年生の大会等終了後）から、川越市立中学校における部活動について、休日及び平日を含めた地域クラブ活動の移行を進める。



R8.1 『川越市 地域クラブ活動（部活動地域展開） に向けたガイドライン』 策定



ホームページ
リンク

1 川越市の概要について

『川越市 地域クラブ活動（部活動地域展開）に向けたガイドライン』の目的・趣旨

本市の地域クラブ活動は、生徒を中心に考え、豊かで幅広い活動が実現されるよう、これまで学校が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出するものである。新たな価値とは、生徒のニーズに応じた多様な体験、生徒の個性・得意分野等の尊重、学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出、地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流、適切な指導者による良質な指導、学校段階にとらわれない継続的な活動（引退のない継続的な活動）及び地域クラブ活動の指導者による一貫的な指導を指す。

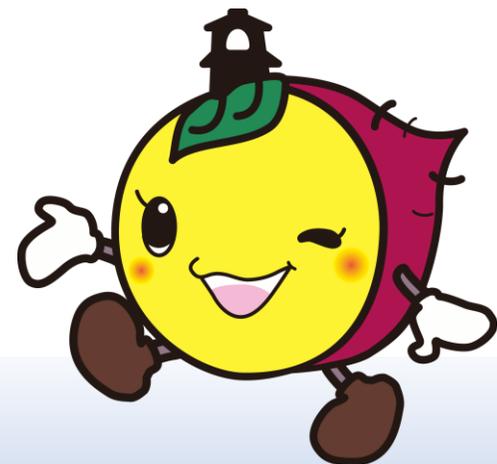
1 川越市の概要について

『川越市 地域クラブ活動（部活動地域展開）に向けたガイドライン』で示した《地域クラブ活動への展開のイメージ図》

- ・ 令和7年 改革推進期間
検討、周知、実証事業
- ・ 令和8年～令和10年 改革実行期間【前期】
休日の地域クラブ活動の開始（段階的移行）
- ・ 令和11年～令和13年 改革実行期間【後期】
休日の地域クラブ活動の定着、平日の移行推進

	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
		改革実行期間(前期)			改革実行期間(後期)		
中学 1年生		中学2年生	中学3年生				
		休日の地域クラブ活動開始					
小学 6年生		中学1年生	中学2年生	中学3年生			
		休日の地域クラブ活動開始					
小学 5年生			中学1年生	中学2年生	中学3年生		
			入学時から休日は地域クラブ活動として参加				
小学 4年生				中学1年生	中学2年生	中学3年生	
				入学時から休日は地域クラブ活動として参加			

2 令和7年度実証事業について



川越市マスコットキャラクター
ときも

2 令和7年度実証事業について

『川越市の部活動の現状（調査内容）』

【令和7年6月実施 『地域クラブ活動への展開（移行）に向けた基礎調査』】

調査概要

1 目的

令和7年度における文化スポーツ部の実証事業の実態調査と令和8年度（3年生の大会・発表会等終了後）から地域クラブ活動への展開に係る現状とニーズを把握し、今後の方向性を検討するにあたり、その基礎データとなる学校（管理職）・教職員の意向を調査することを目的として実施いたしました。

2 調査期間 令和7年6月16日（月）～ 令和7年6月30日（月）まで

3 対 象 市内公立中学校

・管理職（校長・教頭）：44名

・教職員（教諭・養護教諭・講師、臨任者も含む）：599名

4 回答率 (1)管理職回答数37人/定員数44人≒84%

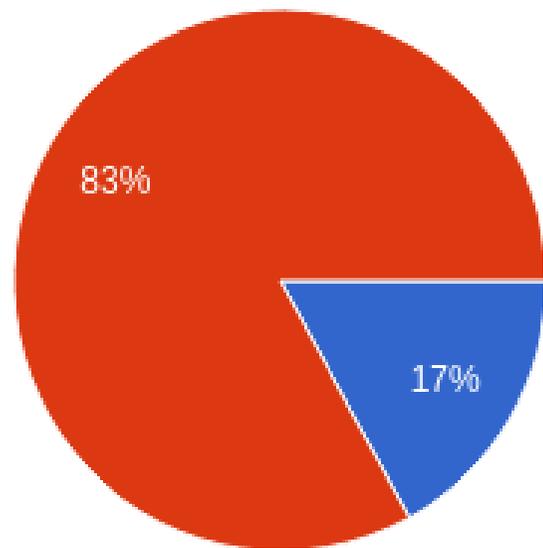
(2)教職員回答数342人/定員数599人≒57%

5 調査方法 Googleフォームによるweb調査

2 令和7年度実証事業について

『川越市の部活動の現状（調査内容項目）』

令和7年9月以降に文化スポーツ部で実施する実証事業について、休日の部活動が直営地域クラブとして置き換えた際にも、指導者として指導したい意向はありますか。



- ・ 17%（58人）：あります
 - ・ 83%（284人）：直営地域クラブとしての指導は考えていない
- ※学校への説明をしている中での調査だったため、『休日も部活動のままで行います』という回答もあった。

【令和7年6月実施 『地域クラブ活動への展開（移行）に向けた基礎調査』】

2 令和7年度実証事業について

『令和7年度の運動系地域クラブ活動実証事業』

1 運動系での実証事業の目的

- ・部活動顧問（教諭）が兼職兼業での指導を行い、実証事業を通じて、地域クラブ活動として実施した場合に必要な諸手続き等（活動報告、生徒への連絡体制）を確認する。
- ・2校合同で実施し、合同で活動した場合の活動場所への移動、連絡体制、指導の方向性について検証する。

2 事業の内容

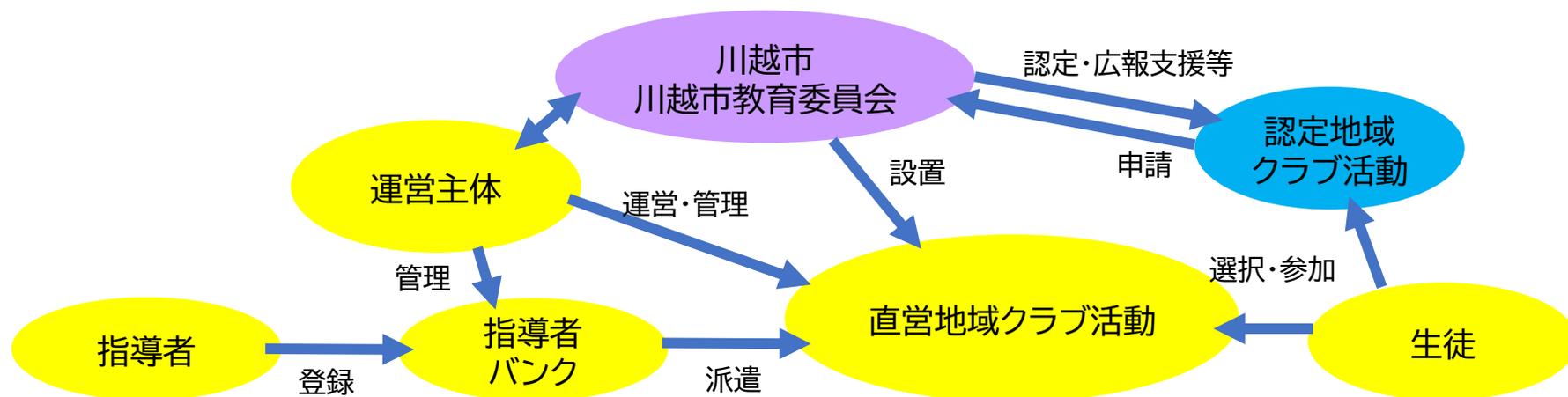
種目	実施校
陸上	大東西中・霞ヶ関中
バスケットボール（男子）	城南中・高階中
	大東西中・霞ヶ関東中
サッカー	南古谷中・砂中
ソフトテニス（女子）	南古谷中・砂中

2 令和7年度実証事業について

『令和7年度の運動系地域クラブ活動実証事業』

1 直営地域クラブ活動

市が中学校部活動を地域クラブ活動化する形で設置し、運営する地域クラブ活動。部活動地域展開後におけるこどもたちの主な活動の場として、こどもたちがスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保することを目的とします。



2 令和7年度実証事業について

『令和7年度の運動系地域クラブ活動実証事業活動の様子』



2 令和7年度実証事業について

『令和7年度の文化系地域クラブ活動実証事業』

1 文化系での実証事業の目的

- ・ 部活動顧問教諭（兼職兼業）と、地域の大学、音楽団体から派遣された指導者による指導を行い、学校外の指導者が入った場合にどのような課題が生じるか確認する。
- ・ 地域クラブとして運営した場合に必要な諸手続き等（活動報告、生徒への連絡体制）を確認する。
- ・ 学校施設を使用することについての防犯上の課題を整理する。

2 事業の内容

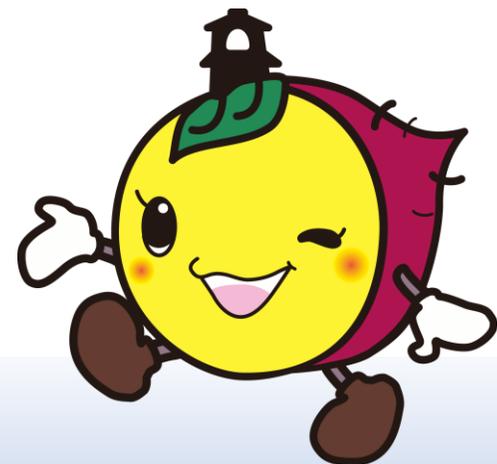
種目	実施校	協力団体
吹奏楽	東中	東邦音楽大学
	高階西中	川越リージョナル ウインドオーケストラ
	川越西中	尚美学園大学

2 令和7年度実証事業について

『令和7年度の文化系地域クラブ活動実証事業活動の様子』



3 今後の検討課題について

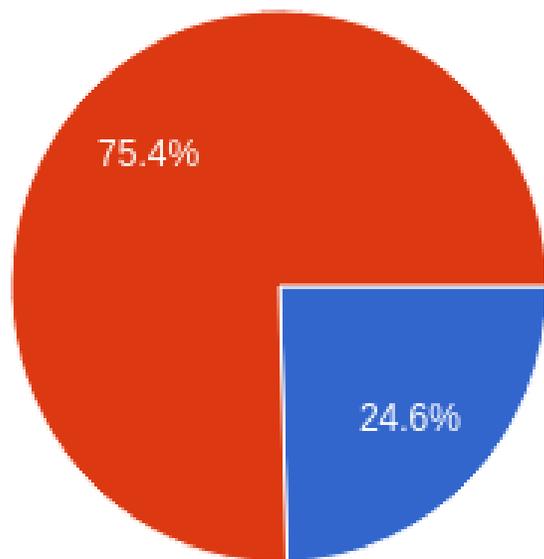


川越市マスコットキャラクター
ときも

3 今後の検討課題について（1/7）

『川越市の部活動の現状（調査内容項目）』

令和8年度についてお聞きします。令和8年度（3年生の大会・発表会等終了後）から川越市立中学校における部活動について、休日及び平日を含めた地域クラブ活動への移行となった際にも指導者として指導したい意向はありますか。



- ① 24.6%（84人）：あります
- ② 75.4%（258人）：指導はしたくない
（休日も部活動のままで行います）

※②の理由には、「休日は休みたい」、「家庭生活を優先にしたいから」、「職務が多忙だから」、「授業準備や学級経営等、それ以外の事務に充てたいから」という内容が多かった。

3 今後の検討課題について（2/7）

(1) 費用負担と財源確保について

ア 令和7年度にあたっては、運営主体が指導者に対して謝金及び費用弁償（交通費・雑費）を支給した。

イ 令和7年度にあたっては、運営主体が指導者及び生徒の保険加入費用を負担した。

ウ 令和7年度にあたっては、会費の設定を行わないこととした。

エ 令和7年度の財源は、「文化部活動改革（部活動の地域移行に向けた実証事業等）」、「地域スポーツクラブ活動体制整備事業費（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）」、「川越市学校部活動地域連携・地域移行推進基金」を活用した。

オ 今後の継続的な地域クラブ活動の運営を行うため、可能な限り低廉な参加費の設定について、改革実行期間（前期）中に検討を行う。

カ 必要な用具については、受益者負担（保護者負担）とする。



3 今後の検討課題について（3 / 7）

(2) 施設利用等について

各地域クラブ活動が学校施設や公共施設を使用する際の使用の位置づけや使用料の考え方、学校備品の使用や負担のあり方については、各地域クラブ活動が活動しやすい環境整備に向けて今後検討を行う。なお、それまでの間の学校施設の使用については、学校開放の仕組み等を活用して実施する。



3 今後の検討課題について（4 / 7）

(3) 認定地域クラブ活動への支援

認定地域クラブ活動の推進には、多種多様な認定地域クラブ活動が数多く生まれることが重要である。そのため、今後の広報支援の在り方や施設の利用調整支援の在り方について検討を行うとともに、認定地域クラブ活動が安定的・継続的な活動を確保する上で必要な事項についての検討を行っていく。



3 今後の検討課題について（5 / 7）

(4) 経済的困窮世帯への支援に係る体制構築

経済的に困窮する世帯への支援に係る公的負担とのバランス、持続可能な運営に留意。



3 今後の検討課題について（6 / 7）

- (5) 指導者と運営主体との情報共有
ICT・アプリ等を活用した情報共有の構築



3 今後の検討課題について（7/7）

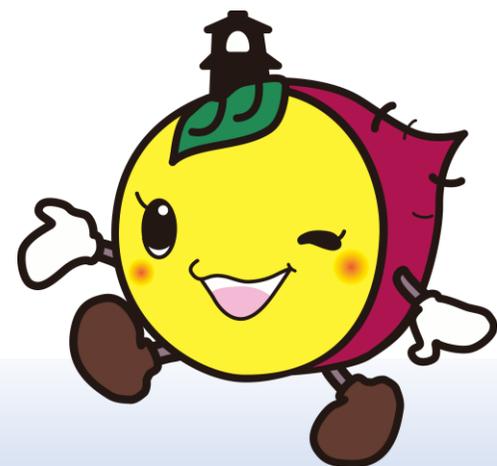
(6) 取組の進捗管理

本市では、『川越市立中学校における部活動地域連携・地域移行推進計画【令和7年度～令和13年度】』の作成に至るまでの間、令和4年11月から教育委員会及び文化スポーツ部の関係課と市立中学校から校長会会長及び中学校体育連盟会長を加えた「川越市立中学校の部活動地域移行検討委員会」を組織し、取組の方向性等について協議してきた。また、行政や文化芸術・スポーツ関係団体、市内大学、学校代表、保護者代表が相互に情報共有するとともに、意見の聴取を行うため「川越市地域クラブ活動連絡調整会議」を開催してきた。本取組を進めるに当たっては、引き続き様々な団体との連携・協力が必要であるものと捉えている。





御清聴
ありがとうございました。



川越市マスコットキャラクター
ときも